

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2019/10/01～2019/10/31)

1. 勉学の状況

今月で後期の授業が全て終わりました。あとは11月の後半にテストが一つあるだけです。今までの授業期間を振り返れば思い通りにいかないことだらけだったなという感じですが、ようやく全部が終わりそうだというところで、ホッとしています。10月は3つの授業全てで大きな課題が出ていたので、今までで一番忙しく、辛い期間でした。エッセイだけでなく、オンラインプレゼンとして、簡単にいえば音声付きのスライドを作成して提出するというものもあり、慣れない作業に必要以上の時間をかけてしまうこともありました。以前も利用した締め切り延長のシステムを活用し、なんとか期限内に全ての課題を提出することができました。前期後期と通してこちらで勉強してきましたが、毎日こなすべきものが山のようにあり、「勉強しているな」という感覚がずっとありました。正直に言うと、千葉大にいた頃は、まだ1、2年生の時点でそこまですごい内容に入っていなかったということもありますが、ここまできつく感じることはほとんどありませんでした。大学に入って初めて、学習が大きく負担としてのしかかり、その分だけ何かの糧になっているのではないかな、と望み半分に思っています。今の段階だとまだ即効性のある成長感？みたいなものは無いのですが、日本に帰ってから「行って良かったな」と思えるようになりたいです。



休暇中に出かけた山の中に、鳥に餌をやるところがありました

2. 生活の状況

そろそろ夏が始まるくらいになり、30度近くにまで暑くなる日もあるのですが、時々20度近くまで下がってしまうときもあります。気温差が激しいので体調を崩しやすいです。また、着る服にも少し困ってしまいます。今夏服を買っても、冬の日本に帰った後にはしばらく着ないだろう、と、日本とは季節が逆のこちらで新しく服を買うのもためらってしまいます。

今月の初めにセメスターの中間休暇が1週間あったので、街に出かけて買い物をしたり、山間部に観光に行ったりしていました。普段はあまりできない遠出の外出ができて、とても楽しかったです。ただ、授業期間に入ってしまうと、ほとんど娯楽が無くなってしまい、しんどかったです。学期の終盤には、後期に卒業する人たちへのセレモニーが1-2週間大学全体をあげて開催されており、ちょっとしたお祭りのような状態でした。外にある大きなスクリーンでは式の様子の中継映像が流れており、式が終わるとスクリーンの前の特設会場のカフェバーに卒業生とその家族や友達が集まって出される軽食を食べながらおしゃべりをしたり、記念撮影を撮ったりしていました。今期は私の友人も卒業したので、一緒にお祝いをしに行きました。

帰国の準備に関してですが、先月はダンボールでの郵送を検討していましたが、想像していたよりも送料が嵩むようだったので、今の段階ではやめようかと考えています。ちなみに私が検討していたのは、オーストラリアの郵便局 Post の国際郵便のサービスで、ホームページで詳しい料金プランを調べることができます（プランによって重量や配送日数等が変わります）。ダンボールでの郵送としては、規定内の大きさのものであれば自分で好きなダンボールを準備して送る

ことができるようです。ダンボールを自分で用意する場合、店で購入するというよりも、スーパー等で余っているものを分けてもらう方が手軽で主流なようです。テストが終わってから帰国日までは1週間くらいしか無いので、テスト勉強と並行して早め早めに準備を進めていきたいです。



カフェバーでは給仕係の人が軽食をおぼんに載せて歩いているので

そこからアイスなどを貰います